

2021年10月8日

総合型選抜（教員養成特別入試） 講義

講義タイトル 「災害から児童を守るために」

要旨

近年、北海道は様々な災害に見舞われ、沿岸部における地震・津波の心配のみならず、内陸部においても水害や土砂災害、火山噴火、風雪害が増加している。

これらに対応するため、ハザードマップや学校では災害等への対応マニュアルなどを作成しているが、教員は気象条件や地域経済条件など、地域の置かれている状況に関心を持ち、主体的に状況を判断し、スキルアップしていくことが求められる。

また、地域に暮らす児童・生徒も、災害に対して、受動的で、指示待ちの対応ではなく、自身の命を守る主体的行動を身に付ける必要がある。

そこで、北海道や東北地方で懸念されている地震・津波などに関する講義を行い、思い込み、指示待ち、デマ・誤情報に対応できる児童・生徒を養成するために、どのような指導ができるかを問う。